## 初めての別れ

Level 1



文: シー (Sally Shi) | Book made by Canva JAPN 1231 Tadoku Spring 2021

ある子供がペットショップーウインドを「ママ、可愛いハムスターね!」

「そうだね。」

見ながら、言いました。

「そのハムスターを買ってもいい?」

「いいよ。でも、誰が世話をする?」

「私が!ママが私を世話してくれるように

世話するよ!」





男の子は毎日ハムスターをよく世話していま\_ まいにち た。

を話していました。
はな
毎日ハムスターに餌をやって、ハムスターと楽しいことや悲しいこと 出しました。ハムスターは男の子の一番の友達になりました。だりました。 ハムスターがソファ のギャップに落ちた時に、 男の子が助け



男の子はとても心配しました。

男の子は泣きながら言いました。 いっちょう ないりょう ないりょう ない アン・ガーボ 気になる?」「どうすれば 私 のハムスターが 元 気になる?」

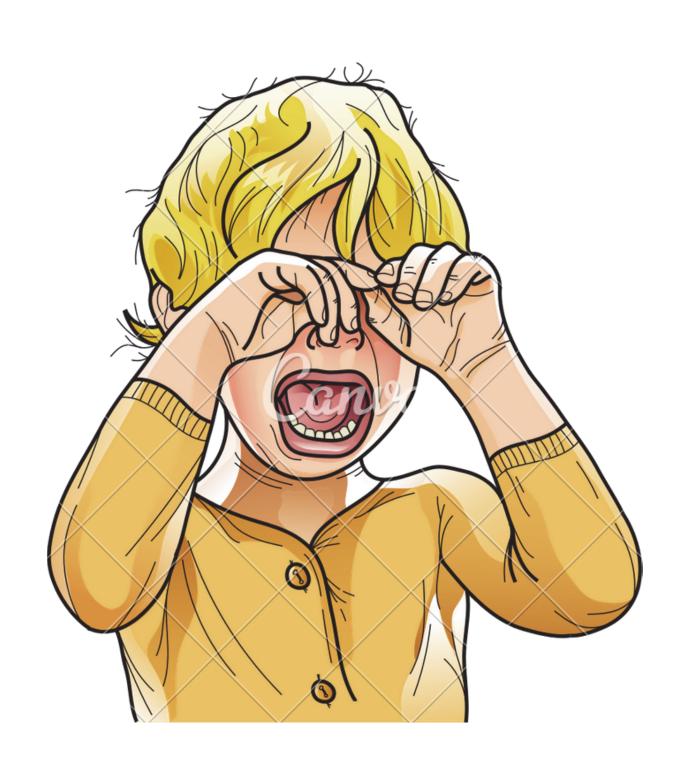


男の子は大声で泣きました。「ハムスターを死なせたくない!」ある日、ハムスターが死にました。ある日、ハムスターが死にました。

「大丈夫だよ。ハムスターはハムスターの天「だいじょうぶでも、ハムスターは動きません。

ってたくさんのハムスターと一緒に遊ぶこと

お母さんは男の子に言いました。ができるよ。」

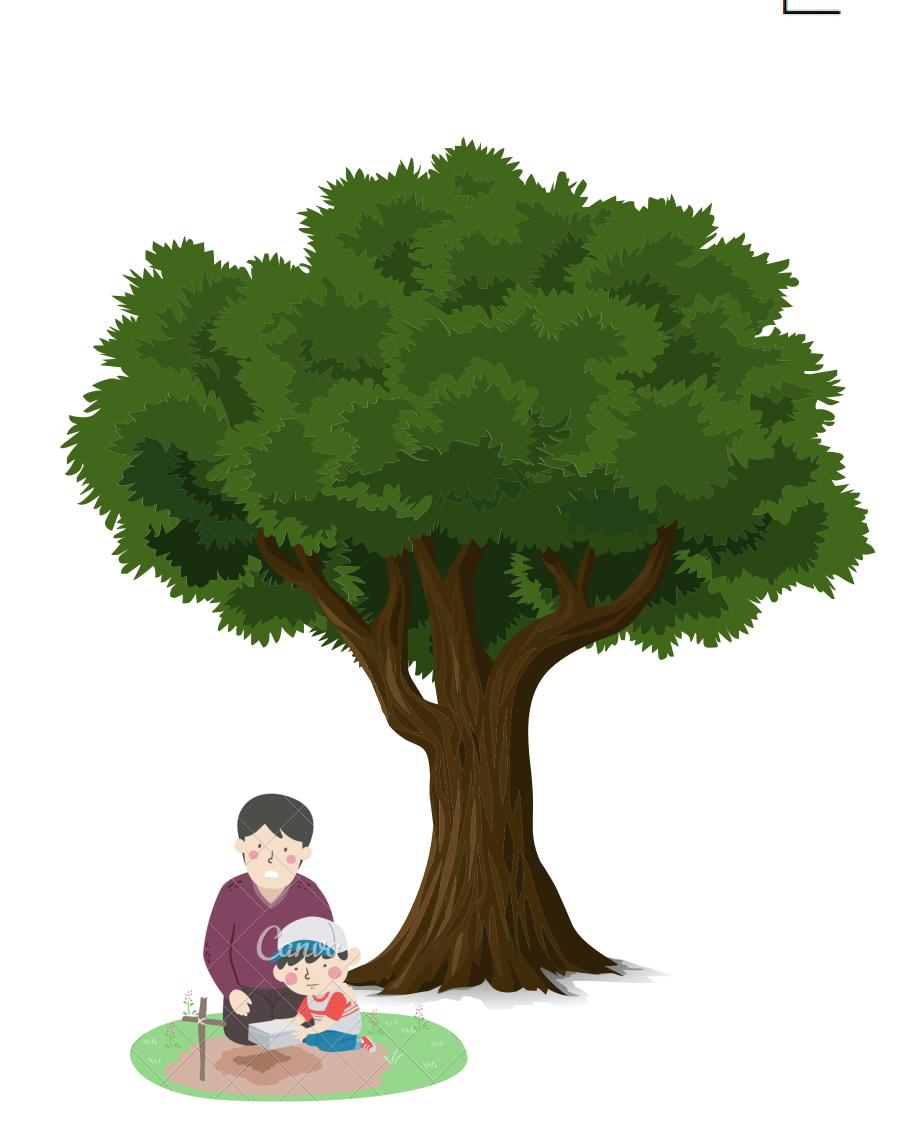


男の子はお母さんと一緒に木の下でいるとこと

「来年の春、ここで、綺麗いいムスターを埋めました。 綺麗な花が咲く

お母さんは言いました。 かあ

「そうよ。」「本当?ハムスターの花なの?」



愛は死に花を咲かせます。 いの いい ちから あたれ は生きる 力を与えます。 死は怖いですけど、

